

登録コード	A3595435	開講年度	2026			
授業科目	専攻研究				担当教員	富岡 郁夫
英文授業名	Thesis Research					
単位数	5	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ					
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				専門的な実験知識の理解と手技を修得している。	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				専門的な実験知識の理解と手技を修得している。	
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ					
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				専門的な実験知識の理解と手技を修得している。	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				専門的な実験知識の理解と手技を修得している。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	生物が環境に適応し恒常性を維持するためのシグナルネットワークは、厳密にコントロールされているが、生殖器においても同様であり、その他の臓器に比べ未解明の問題が多い。専攻研究Iでは、生殖器における細胞内シグナル伝達機構について、また、動物生殖学・発生工学技術の新規知見について、実際の実験を通して、研究の進め方（問題設定・解決法）や論文作成法などを身につける。					
(5)授業計画	1. 研究テーマに関連した論文および他分野の研究領域に関する論文を幅広く読解し、実験計画の立案に役立てる 2. 実施した実験結果について研究室メンバーと議論を行い、研究を進める 3. 研究の成果を論理的な文章で表現する方法を学ぶ（卒業論文および科学論文作成の準備）					
(6)自主学習の指針	研究テーマに関連した専門分野の論文や専門書を積極的に読み、教員を含む研究室メンバーと内容の議論を自主的に行う。					
(7)成績評価の基準	専攻研究に対する積極性、研究の進捗状況の報告、論文紹介の仕方などを評価し、単位を認定する。					
	評価基準： 評語 略記号 点数 秀 S 90-100 優 A 80-89 良 B 70-79 可 C 60-69 不可 D 0-59					
(8)事前事後学習の内容	事前学習として専門論文の読解を求める。					
(9)テストやレポートの予定	実施した実験内容および結果を科学論文の形式で作成したレポートを定期的に提出し、添削を受ける。					
(10)成績評価の方法	研究に対する積極性と意義付けが出来るかどうかで評価する。					
(11)質問、相談への対応および連絡先	担当教員が随時受け付ける。					
(12)履修上の注意	なし					
【教科書】	なし					
【参考書】	なし					